

岩手県立軽米高等学校PTA会報 第108号

2021(令和3)年7月30日

PTA会長挨拶

PTA会長 玉 館 誠



日頃よりPTA活動に對しましてご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。過日開催されました総会にて本年度PTA会長を仰せつかりました玉館誠と申します。

今年度も前年度同様コロナ禍によりPTA活動に制約が出てくると思いますが、前年度のまったくの探りの感じから有効な対策を講ずれば出来る事も増えて来た事も確かです。皆さんと創意工夫しながらPTA活動を進めて行きたいと思っております。

五月十日と十七日には生徒指導委員会による「朝の登校時一声運動」で活動がスタートしております。これは県のPTA事業で前年度は八十校中四十九校が実施したようです。

軽米高校は「PTA」、「先生」、「生徒会」、「軽米中学校生徒会」が参加し登校してきた生徒に挨拶をしたわけですが、先日出席した県のPTA合同委員会で軽米高校の取り組みをお話しする機会がありました。「生徒会」、「中学生」が一緒に参加している事に素晴らしいとお褒めの言葉を頂きました。PTAの皆さんには他校には無い素晴らしい活動をしている事に自信を持って頂きたいと思っております。

少子化による生徒数の減少はこの軽米高校でも例に漏れずいろいろな会議での一番の話題であり、軽米高校、軽米町民が直面する緊急の課題です。このまま生徒数が減って行けば、学級減、募集停止、統廃合の道をたどりませう。しかし幸いなことに軽米高校は軽米中学校からの入学率の向上、近隣の市町村(九戸村、洋野町、八戸市等)からの入学を頂いて一学年二クラスを維持しております。これは軽米高校生の努力、活躍(進学、部活)はもちろんですが、軽米中学校との中高一貫教育の充実・連携も寄与していますし、近隣市町村の中学校に向き軽米高校の魅力を伝えて頂いている校長先生、給食費補助、スクールバス混乗、タクシー通学補助等の援助を頂いております軽米町のおかげだと考えております。軽米高校が末永く存続してい

けるよう私たちPTAで出来る事は何か考えたいと思っております。

親の私が考える地元の高校の魅力は親元から通える高校でしょうか。

三年後には就職なり進学なり親元を巣立つ訳ですがその貴重な三年間を一緒に過ごせる幸せ。そして親元にいる安心感はずいぶんプラスになるでしょう。一年間宜しくお願致します。

コミュニティスクールが目指すもの

校長 金 濱 千 明



皆様には、本校の教育活動に對し日頃から多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、本校はもとより、

地域の厚いご支援とご協力をいただきながら歴史を刻んできた「地域密着型」の学校であります。そのような中、文部科学省が現在進めている「地域とともにある学校づくり」を本校においても推進するために、この四月からコミュニティスクール(学校運営協議会制度)に移行しました。これまでもPTA活動や学校評議員会を通じて学校へのご意見等を頂戴してまいりましたが、学校基本方針などは学校が最終的に意思決定を行って参りました。新しい制度(学校運営協議会制度)ではその意思決定の過程が変わります。学校が提案する学校基本方針や経営計画などを学校運営協議会で承認を受けることとなりますので、学校と地域の協働によって意思決定がなされ、学校運営に地域の声をより反映できるようになりました。PTA、同窓会、町教委、軽米中学校など本校を取り巻く関係諸団体を代表する方に委員をお引き受けただいてスタートした次第であります。おかげさまで六月八日に行われた第一回学校運営協議会では「令和三年度学校経営計画」および「学校運営基本方針」につきまして承認いただきましたので、紙面をもってご報告とさせていただきます。

コミュニティスクールにおいては、地域との結びつ

きをどのように実現するかということが課題でありました。昨年来のコロナの影響でこれまで本校生徒が参加していたお祭りなどの様々な地域行事や対外活動が中止・縮小される中で交流が非常に難しくなっています。校内では地域学習や進路学習などを通して、町内で働くゲスト講師による講話や地域産業の見学企画など地域理解という形で生徒に地域を意識してもらう教育を行っております。

ところで、全国の山間地域にある自治体の多くが抱える人口減少の状況はこの軽米町においても大きな問題です。そして、多くの自治体と同様、一八歳人口が高校卒業と同時に多くが流出したまま地域に戻らない構造が原因の一つであるとされています。勿論、高校生の進路選択の自由は保障されている権利ですのでそこを妨げるという考えは無いのですが、少しでも地域の良さを理解したうえで、「将来、軽米に暮らして、この地域で働く」という選択肢を高校生に考えてもらうことで、一人でも多くの軽米生がやがて地域を担い支える人材になるための種蒔きになればと思います。地域を考える教育を進めたいと考えます。本校は、これまで地域に支えられ、地域と共に歩んできましたが、加えて、これからはやがて地域を支え担うことを目指すコミュニティスクールでありたいと思っております。皆さまからの引続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。上げ、挨拶といたします。

令和3年度PTA役員(敬称略)

会 長	玉 館 誠
副会長	井戸 智 広
	佐々木 輝
	田 代 奈津子
	金 濱 千 明 (校 長)
監 事	中 里 将 幸 子
	池 端 明 子
	小田中 達 夫 (副校長)

PTA・教育振興会総会

五月七日（金）に視聴覚室にて、PTA・教育振興会総会が行われました。

総会では、令和二年度の事業報告、会計決算報告、令和三年度の事業計画、予算案、PTA役員案、教育振興会役員理事案が、それぞれ承認されました。今年度、PTA会長が中里将幸氏から玉館誠氏に代わり、役員も一新されました。

金濱校長からは、コロナ禍ではあるが、安全に十分に留意しながら、なるべく行事等を行い充実した学校生活を送りたいというお話がありました。軽米高校教育振興会の会長である山本賢一町長からは、高校再編が進められている中、町唯一の高校である軽米高校を町として応援していきたいと力強いお言葉をいただきました。

今年度もどのように活動できるか、不透明ではありますが、一日でも早く当たり前のことができる日常が戻ってくることを祈っています。

（広報委員会委員長
檀澤順子 二一二美祐）



進路講演会を聞いて

五月二十六日（水）、本校卒業生で東北大学大学院工学研究科教授である西山大樹氏を講師に迎え、進路講演会が行われました。

世界を変えていくのは誰なのか？それは若い皆さんです。やりたいことに出会った時は、100%の力を出すために今、鍛えること、苦手なものを作らないことが大事。グローバルな視点を持ち、地域に根ざしていることが世界で生きていく力になる。将来の進路に向けて、多くのエールをいただきました。

（関向朱実 二一二怜奈）



職員紹介

小坂 縁 国語 2-2 副担任 音楽	大家 武則 商業、情報 1-2 副担任 サッカー	菊地 良弘 理科(化学) 2学年付 硬式野球	石塚 千登勢 家庭 2学年付 吹奏楽、陸上競技	藤田 修 事務長	小田中 達夫 副校長	金濱 千明 校長	
鹿俣 航 数学 3-2 正担任 陸上競技	鈴木 麗 理科(生物) 1学年主任、1-1 正担任 卓球、音楽	工藤 孝之 保健体育 3学年付 硬式野球	吉田 憲司 数学 2学年主任、2-2 正担任 バスケットボール	兼平 爵臣 芸術(書道)・国語 3学年主任 美術・書道、陸上競技	富樫 奈津子 英語 2-1 副担任 吹奏楽	石村 隆彦 英語 1学年付 ソフトテニス	神谷 亜紀子 地歴・公民 3-1 副担任 ソフトテニス
近藤 和佳 養護教諭 3学年付 バレーボール	奥平民雄 数学 1-1 副担任 剣道	野田 真子 英語 1学年付 美術・書道	菅野 茉莉子 国語 3-2 副担任 バレーボール	佐藤 亮 地歴・公民 3-1 正担任 卓球	赤坂 健太郎 理科(物理) 2-1 正担任 硬式野球、アイスホッケー	サムソン 沙織 英語	大谷 洋介 保健体育 1-2 正担任 バスケットボール
小笠原 雅久 芸術(音楽) 部活動指導員(吹奏楽)	角掛 裕喜 芸術(音楽) 部活動指導員(音楽)	岩本 あかり 教員業務等支援職員	前田 玲子 特別支援教育支援員	上野 サト 校務補助員	田村 智行 ボイラー・技士 兼学校技術員	千葉 研一 主査	中川原 冬子 理科 1学年付 剣道
後藤 治恵 外国語指導アシスタント (英語)	中村 信雄 部活動指導員(剣道)	本田 大空 部活動指導員(卓球)	ドリュー・ダニエル・シユルト ネイティブスピーカー (英語)	長坂 敏博 英語	宮澤 まさ子 芸術(美術) 部活動指導員(美術)		

新会員より

工藤 絵里奈(二一章太)

昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響のため、感染予防対策に十分配慮した中での入学式を挙げて頂きました。義務教育を終え、軽米高校に入学した新入生四十七名、緊張した表情の中から希望に満ちた表情に親として、「また一つ階段を登り、大人になった」と嬉しく思いました。

終息のわからないコロナ禍の中でも、軽米高校の校是「風雪に耐え大いなる未来を拓かん」とあるように、厳しい状況に向き合っても、自分の志を決してあきらめることなく、輝かしい未来を切り拓く強い意志を持ち続け、今この状況で出来る事を精一杯行い、三年後自分の輝かしい希望の道を切り拓いてほしいと思います。

あと三年、もう三年。子ども達は大人になり親元を離れるその時まで、近くでは遠くから見守っていききたいと思いません。

私達PTAも学校、家庭、地域が一体となり生徒の皆さんが充実した高校生活を送れる様、活動していききたいと思いません。



入学式



入学式



PTA入会式



軽米一日総合大学



清掃コンクール



クラスマッチ



クラスマッチ

生徒会活動

生徒会長 三年三組 圃田 咲弥



昨年度は、生徒会のスローガンに「不撓不屈」を掲げて活動しました。これには、コロナ禍でも物事を諦めずに強い意志を持って前へ進んで欲しいという思いを込めており、達成に向けて努力を重ねてきました。

私たち生徒会執行部は、様々な活動の中でも特に、中高一貫事業に力を入れていきます。軽米高校と軽米中学校が連携して多くの取り組みをしていることをご存じの方もたくさんいらっしゃると思いますが、生徒たちの意識は高いとは言えませんが、私も中学生の時は中高一貫校であることを認識しておらず、高校に入学してから驚いたほどです。この現状を打開するため中学生と高校生が交流できる場を増やし、自覚を持ってもらう必要があると考えました。

以前から行っていた月一回の中高生徒会合同挨拶運動と交流会や、伝統となった中高一貫クリン作戦は継続しつつ、レクリエーションの時間を取るようにしました。これによって、中学生と高校生との間に壁が薄れてきていると思います。生徒会執行部から始めようと動き出したことで親交が深められたような実感を味わえ、嬉しく思っています。

コロナ禍とはいえ、このように生徒会活動は新しいことを取り入れながら継続することができました。「不撓不屈」のスローガンに劣らない活動ができたのは周囲の皆さんのご協力のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、軽米高校のために活動して参ります。



各部活動の紹介

陸上競技部

三年二組 福島 碧華

私たち陸上競技部は、三年生五名、二年生三名、一年生三名の十一名で活動しています。今年度は昨年新型コロナウイルス感染拡大により中止となってしまう高校総体が開催されることになり、部員全員が自己ベストを更新して次のラウンドに勝ち進めるように日々の練習に取り組んで来ました。五月に行われた県高校総体では、一人一人が自分の力を最大限に発揮し、満足のいく結果を出すことができました。日々の練習は楽しいことばかりではなかったし、辛い練習もあつたけれど諦めずに頑張り続けてよかったと思います。一年生も九月の新人戦や、各種大会で自分が納得のいく結果が出るように、人数が少ない中ではありますが皆で励まし合いながら辛い練習も乗り越えてほしいと思います。これからも日々指導して下さる先生方や支えて下さる保護者、地域の方々へ感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

バスケットボール部

二年二組 小林 颯太

私達バスケットボール部は、二年生九名に加え、新しく迎えた一年生十名、合計十九名で活動しています。男子は今年から単独での大会出場が可能となり、三年ぶりに単独チームで高総体に出場しました。女子は葛巻高校との合同チームで高総体に出場しました。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を多くの場面で受けましたが、今年度は高総体へ出場することができ、そのような環境を作っていた方々にとっても感謝しています。私達二年生にとっても初の高総体となり、男女ともに大会を通し、練習の成果を出せた良い点、まだまだ改善しなければいけない点をしっかりと確認することができました。

今後、選抜大会、新人戦があるので、これまでの経験を一年生に伝えながら、男女ともに「軽米高校バスケット部」として共に成長し、目標の県ベスト8を達成できるように全力で練習に励んでいきます。また、日々支えて下さる周囲の方々への感謝を忘れずに、これからも部活に取り組んでいきたいです。

バレーボール部

三年二組 刈谷琴美

私たちバレーボール部は三年生二名、二年生三名の合計五名で活動していました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、高総体で最後のプレーが出来ました。この事への感謝の気持ちを忘れず、これからも生活していきたいです。一昨年から福岡高校と合同チームを組ませていただいております。他校の生徒と関わりを持つことにより、三年間ともに成長することができました。新体制になってからは自分たちらしい良いプレーや雰囲気作りが出来たと思います。バレーボールはチーム力が試されるスポーツなので、後輩たちには自分から積極的にコミュニケーションを取るチームを作っていってほしいと思います。

卓球部男子

三年二組 池端 皇

僕たち男子卓球部の目標は東北大会出場でした。今年の高総体はコロナの中ではありましたが感染対策を十分にした上で行われ、僕たちは去年の三年生たちの思いを背負い試合してきました。県高総体では男子団体が平成元年以来の準優勝を勝ち取ることができ、目標であった東北大会に出場することができました。これからの一、二年は中学生のころから県で名前を残している人が何人かおり、非常に期待できるメンバーなので、日々支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、僕たちが残してきた成績のあとを継いで結果を残してくれることを期待しています。

卓球部女子

二年二組 関向 怜奈

卓球部女子は現在二人で毎日目標に向かって部活動に励んでいます。少ない部員数ですが、男子の部員と協力したり、練習の内容を工夫したりして対応しています。

今年は昨年新型コロナウイルスの影響で中止になった高総体が開催され、助っ人二人借りて念願の団体戦に出場することができました。また、新人戦では開催されなかったダブルスもあり、団体・ダブルス・個人戦と、全てに出場することができました。高総体では多くのことを学ぶことができました。新人戦に向けての課題などを見つけていきました。

今の部活ができる環境を当たり前とは思わず、協力してくださる方々に感謝し毎日の部活を頑張っています。そして、周囲の方々に応援されるようなチームを目指して精進していきます。

ソフトテニス部

三年一組 尾田川 丈

ソフトテニス部は三年生三名、二年生男子三名と女子一名、一年生は二名で活動しています。少人数のため、普段の活動や練習内容でも工夫が必要ですが、お互いに知恵を出し合って、自分達に有益なメニューを考えながら楽しく練習しています。私たちの部活では明さがモットーであり、苦しい練習の中にも、お互いユーモアを忘れずに、ともに励まし合いながら練習に取り組んでいます。

昨年度は開催できなかった、高総体県大会が今年度は開催されました。昨年出場できずに引退した先輩の思いなどを胸に試合に臨みました。男子団体戦に出場し、結果として初戦敗退ではありましたが、悔いの無いプレーが出来たと思います。テニスが出来た環境を当たり前と思わずに、これからも周囲に対する感謝を忘れずに部活動に取り組んでいきたいと思えます。無料で立派なコートで練習できることを軽米町に、日々見守ってくれる家族、苦しい練習の中を支え合える仲間感謝し、活動を続けていきたいと思えます。

硬式野球部

三年一組 井戸淵 拓巳

硬式野球部は現在十三名で活動しています。昨年までは人数不足のため他の部活から助っ人を借りながら活動していました。しかし、一年生の入部により助っ人を借りずに大会に出場できるようになりました。これまでより技術的・戦術的な練習に取り組みようになり、練習に活気が溢れ、チームとしてのまとまりが出るようになりました。

現在の野球部のスローガンは「気迫と情熱、一〇一パーセントへの挑戦」です。私たちはこのスローガンのもと練習ができることに感謝し、日々の練習を怠らなず、大会で大きな力を発揮できるように練習に励んでいます。

剣道部

二年一組 向屋敷 萌

剣道部は現在三年生二名、二年生二名で活動しています。今年度から、部活動指導員の先生にご指導いただいております。

三年生が引退し、部員が二人になると、出来る練習が限られてしまうのが問題としてあり、今後開催予定の大会や錬成会が例年通り行えるかどうかの不安は常に隣り合わせであることは変わらぬと思います。その中、個人としての意識向上と技術のレベルアップをはかるために練習メニューを一から組み立ててくださったことや、コロナウイルス感染症を考慮しながら合同練習の機会を与えてくださったことなど、先生が私たちのために様々な形で動いてくださったこと、二人でも充実した内容を取り組んでいます。

多くの大人の方の協力があった、練習が成り立っていることに感謝しています。これまで剣道を通して関わり、応援してくださった方々に結果を出して恩返し出来るよう全力で稽古し、成長していきます。

吹奏楽部

三年一組 長者森 ひより

吹奏楽部は、一年生四名、二年生四名、三年生十名の計十八名で活動しています。現在は「応援される部を目指し、技術の向上に努める」という目標の下、七月に行われる吹奏楽コンクールと昨年に引き続き開催予定の校内演奏会に向けて練習に励んでいます。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で吹奏楽コンクールが開催されませんでした。今年度は、例年通りとはいきませんが、大会が開催されることに感謝し、自分たちの目標である地区大会金賞、県大会出場を果たせるように頑張りたいと思えます。また、校内演奏会では、三年生の引退前最後のステージを笑顔であふれる最高のものにしたいです。そして日頃から私たちが支えてくれている方々への感謝を忘れず、音楽を通して感謝の気持ちを伝えたいです。

これからも、仲間同士で協力し、助け合いながら、より良い演奏を目指して頑張っていきたいです。

音楽部

三年一組 板橋 雅 二年一組 古舘美月

音楽部は現在、基礎の発声練習や自分たちの好きな

曲を中心とした合唱の練習をしています。週に一度、音楽の専門の先生から丁寧に指導していただいています。

発声練習では、先生から教えていただいた練習法で練習しています。そして、今流行している曲や誰もが知っているような名曲を二〜三曲選んで歌っています。自分たちで歌いたい曲を決めて歌っているので、活動していても楽しいです。部員数は五人と少ないですが、それでも二パートに分かれて歌うことができているので、ハモリを意識しながら歌っています。

一、二年生は、声量が少ないですが、みんな一つ一つの曲を作り上げるために協力し、楽しみながら歌っています。七月二日の中学生一日体験入学で三年生は引退になりますが、これからも今の努力を怠らさず、一回一回の発表の場を大切に、聴いてくださる方々にも楽しんでいただけるような合唱をお届けしていきたいと思えます。

美術・書道部(美術)

三年一組 上村 れみあ

美術部は現在十六人で、岩手県高等学校総合文化祭に向け、「水彩画・油絵・切り絵・陶芸」など様々な分野の作品を制作しています。

イラストは水彩絵の具、クレヨン、色鉛筆、コピック等様々な画材を使って、デッサンからアニメまで幅広いジャンルの絵を描いています。また、校内活動では、十月に軽米高校文化祭で作品を展示しています。

制作は、主に個人で行いますが、アイデアや作品の意見を部員と交換するなど、協力して毎日の活動を行っています。創作活動には必ずそれぞれの感性が反映されます。私たちは、上手、下手もジャンルや表現方法も問わず、オリジナルのイラストや模写、切り絵や貼り絵など、絵を描くのが苦手な人でも取り組める分野が沢山あり、その中から自分が作りたい作品を選び作業しています。そのため個々の発想力やセンスが生かされた個性溢れる作品を作ることができました。また、講師の先生のアドバイスを頂きながら、少しでも良い作品を作ろうと向上心を持って取り組んでいます。このような日々の美術部の活動を通して、自分の思い通りの作品が出来るまでの集中力や、作品を一から作り出す発想力などを身につけることが出来ます。その今までに身につけた力を発揮して、賞を取るような作品を目指していきます。

美術・書道部(書道)

三年一組 小林 祐佳

書道部は現在、三年生四名、二年生二名、一年生三名の計八名で活動しています。私たちは、岩手県内の高総体や岩手県高等学校書道作品コンクール、全国展である全日本高校大学生書道展など、各種展覧会、コンクールへ出品し、入選入賞を目指して部員同士協力し助け合いながら日々作品制作に励んでいます。校内活動として軽高祭、地域の活動として軽米町芸術祭や書き初め会へ参加しています。私たちは作品を書く他に、作品選別の際は、それぞれの作品を全員で選別し、部員同士でアドバイスをし合いながら次につなげて、お互いに高め合うことを大事にしており、チームワークとコミュニケーション、協調性を養っています。今年度の第十九回岩手県高等学校書道作品コンクールでは、多数の部員が上位へ入賞を果たすことができました。現在は、岩手県高等学校総合文化祭書道部門に向けて、一生懸命に練習に励んでいます。

私たちは、書道を通して、集中して物事に取り組むことや力を合わせて作品を作り上げること、自分の作品を客観的に見たり、先生のアドバイスを素直に聞き入れたりして改善することの大切さを学び、人間力の向上を目指しています。今後もこれまで培ってきた技術や学んできたことを忘れず、日々の練習時間を大切にして部活動に励み、全員で少しでもいい作品を書いて行きたいと思っています。

サッカー同好会

三年二組 田中 光

私たちサッカー同好会は現在、三年生五人、二年生二人で活動しています。今年度は新型コロナウィルスの影響で、他校との練習や試合が無くなりました。しかし、少ない人数ながら、しっかりと一人ひとりが目標を持ち、質の高い練習を行うことができました。限られた時間の中で集中し、少ない人数でも常に声をかけ技術の向上、チームスキルを上げるために一生懸命取り組んできました。

一・二年生には、感謝の気持ちを忘れずに、チームの和を大切にしながら、サッカーの楽しさを忘れずにプレーして欲しいと思います。これからも、仲間同士アドバイスし合い、助け合いながら活動して、毎日楽しい部活動をしていってほしいです。

大会結果

第73回岩手県高等学校総合体育大会

〔陸上競技〕

〔男子〕

小林郁硫(2-1-1)

男子400m 予選1組8着 56秒98

男子400mH 予選2組5着 1分07秒87

楓木澤 海(1-1-1)

男子3000mSC 予選2組13着 11分33秒43

福士 蓮(1-1-1)

男子円盤投 NM

男子ハンマー投 11位 12m90

〔女子〕

小笠原彩夏(3-1-1)

女子ハンマー投 1位 42m40 東北大会進出

女子円盤投 4位 27m00 東北大会進出

女子砲丸投 NM

上澤千夏(3-1-1)

女子ハンマー投 4位 35m39 東北大会進出

皆川麻依(3-1-1)

女子100mH 予選3組7着 19秒73(-0.1)

女子走幅跳 9位 4m68(-1.0)

三八木澤愛生(3-1-1)

女子400m 予選3組7着 1分11秒07

福島碧華(3-1-2)

女子100m 予選5組6着 14秒19(+0.3)

女子200m 予選3組7着 29秒67(+1.0)

佐々木菜月(2-1-2)

女子2000mSC 決勝6位 7分40秒46

女子3000m 決勝9位 10分26秒93

田向姿月(2-1-1)

女子円盤投 NM

女子やり投 NM

安藤愛理(1-1-2)

女子800m 予選4組5着

2分36秒26 予選通過

準決勝1組7着 2分32秒62

女子5000mW 決勝8位 35分47秒08

女子4x400mR

(三八木澤・佐々木・安藤・福島)

予選4組3着 4分32秒22 予選通過

準決勝1組6着 4分32秒31

〔卓球〕

〔男子学校対抗〕

2回戦・軽米3-0 紫波総合

3回戦・軽米3-0 大船渡東
4回戦・軽米3-1 盛岡第四
上位4校総当たり決勝リーグ①・軽米3-1 盛岡第三
上位4校総当たり決勝リーグ②・軽米3-1 盛岡市立
上位4校総当たり決勝リーグ③・軽米0-3 専大北上
決勝リーグ順位・第2位東北大会進出
〔女子学校対抗〕

2回戦・軽米3-0 岩泉

3回戦・軽米1-3 盛岡第三

〔男子ダブルス〕

池端(3-1-2)・川原(3-1-2) 組・ベスト8

間澤(2-1-1)・福田(2-1-2) 組・2回戦進出

〔男子シングルス〕

池端 皇(3-1-2) ..ベスト16

川原 歩士(3-1-2) ..3回戦進出

間澤 康大(2-1-1) ..2回戦進出

福田 柊真(2-1-2) ..2回戦進出

下谷地 雄紀(2-1-2) ..2回戦進出

〔女子シングルス〕

関向 怜奈(2-1-2) ..2回戦進出

〔バスケットボール〕

○男子

軽米 72-103 千厩・大東

○女子

軽米・葛巻118-35 盛岡農業

軽米・葛巻 33-113 一関修紅

〔ソフトテニス〕

ソフトテニス競技 男子団体戦

初戦 軽米高校 0-3 千厩高校

〔バレーボール(女子)〕

軽米・福岡 0-2 水沢

〔剣道〕

〔男子個人戦〕

金濱春翔(2-1-1) 2回戦進出

〔女子個人戦〕

玉田ひより(3-1-2) 1回戦進出

向屋敷 萌(2-1-1) 2回戦進出

川原木詩音(3-1-1) 2回戦進出

〔女子団体戦〕

向屋敷萌(2-1-1)・川原木詩音(3-1-1)・玉田ひより(3-1-2)

軽米 0-4 江南義塾

軽米 1-0 盛岡中央

〔東北大会結果〕

〔陸上競技〕

第76回東北高等学校陸上競技大会兼秩父宮賜杯第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東北地区予選会(女子)

小笠原彩夏(3-1-1)

女子ハンマー投 4位 42m90 インターハイ進出
女子円盤投 19位 29m40
上澤千夏(3-1-1)
女子ハンマー投 10位 38m40

〔卓球〕

第75回東北高等学校卓球選手権大会

(第90回全国高等学校体育総体卓球競技東北ブロック代表決定戦) CNAアリーナ★秋田

〔男子学校対抗〕

1回戦・0-3 福島東陵

〔その他〕

〔吹奏楽〕

第59回岩手県吹奏楽コンクール
東北地区大会高等学校小編成の部 金賞



令和三年度PTA活動 各委員会の様子

◆環境整備委員会(担当職員 中川原冬子)

委員長 松田梨恵(二二陽樹)
副委員長 佐藤志寿(二一由輝奈)

〈活動内容〉

環境美化活動(校舎前花壇肥料入れ・植栽)
六月十五日(火)
六月二十四日(木) クラスマッチ初日

◆広報委員会(担当職員 兼平爵臣)

委員長 樽澤順子(二二美佑)
副委員長 下谷地雪雄(二二雄紀)

〈活動内容〉

PTA会報編集発行
第一〇八号(七月三十日発行)
第一〇九号(二月二十八日発行予定)

◆生活指導委員会(担当職員 佐藤亮)

委員長 池端富美子(三一三皇)
副委員長 戸田育子(三一風詩)

〈活動内容〉

朝の登校時一声運動(五ノ十、五ノ十七に実施)
秋祭り巡回指導(本年度は中止)
研修に参加

◆母親委員会(担当職員 菊地良弘)

委員長 團田満美子(三一三咲弥)
副委員長 寺地亜紀子(二二就哉)

関向朱実(二二二恰奈)
皆川依子(三一三麻依)

〈活動内容〉

六月二十四日(木) クラスマッチ飲料水配布

PTA活動の記録

校舎前花壇植栽

(環境整備委員会云々)

五月一五日・二十四日、一学年環境整備委員による、花壇の整備が行われました。両日とも、天



候に不安がありました。雨に当たることなく、無事に作業が行われました。花壇の肥料入れでは想像以上にたたくた土を掘り起こすのに苦労しました。少人数での活動となりましたが、皆さんの協力です。皆さんの協力です。わらかな土を作ることができました。植栽では、再度土を掘り起こし、花の色や



面持ちだったり、照れくさそうにしながらも爽やかに返してくれました。生徒達の「朝の顔」を見る事が出来て、ほっこりとした温かい気持ちにさせられました。新型コロナウイルス感染症拡大により、当たり前に出た活動に制限がかり、気持ちも沈む毎日ですが、そんな時だからこそ、人と人のつながり方が、大切になってくるように思います。挨拶により、豊かな人間関係が築かれ、学校や地域に対する深い愛情が育まれると思うので、今後もこの活動を続けていってほしいと思います。(生活指導委員会 川原純子 三一三歩士)

クラスマッチ飲料水配布(母親委員会云々)

今年度も、新型コロナウイルスの影響で、作業後のクラスマッチの見学はできませんでした。それでも、生徒達がクラスマッチを開催できたことはよかったと思います。普段当たり前にしていた事ができず、多方面で不自由さを感じる事が多いですが、一つでもできた時喜びを感じられたらいいなと思います。花の生命力はとて強いのです。生徒達にも、伝わってくれりと嬉しいです。蒸し暑い中の作業で、皆さん汗だくでした。御協力いただいた皆さん、ありがとうございます。(環境整備委員会委員長 松田梨恵 二二陽樹)

六月二十四日(木)、毎年恒例のクラスマッチで飲料水配布を行いました。例年代金は軽高祭に出店する「カレーハウスおかあさん」の収益から支払われるのですが、昨年は出店できなかったため、母親委員会会計の残金からとなりました。クラスマッチは、昨年から新型コロナウイルス感染症予防のため、外部からの見学を自粛していただきました。これにより、飲料水配布も先生に代わりしていただきました。母親委員はもちろんのこと、多数の保護者の方が見学・応援を楽しみにされていたようで、残念に思う声が多く聞こえています。今年度も制限の中で、できる活動を考えていくこととなります。母親委員活動の目玉ともいえる、また収益も見込まれる「カレーハウスおかあさん」も出店が難しい状況です。一日も早く、生徒のための活動が安心してできるような日に戻れることを心から願います。活動の際にはP

あいさつ運動(生活指導委員会云々)

生活指導委員会の最初の活動として、「登校時一声運動」が、五月十日(月)と十七日(月)の二日間、軽米高校と中学校の正門前で行われました。両日とも肌寒く、雨がちらつく天気でしたが、本校を中学校の生徒会役員、先生方、保護者の皆さんの雰囲気は明るく、私も元気を声を出そうとおもいました。こちらが元気に挨拶すると、生徒達は、緊張した



いつもで続く新型コロナウイルスの戦い。それも、少しづつ、行事、部活など出来る事が増えてきています。出来る事の嬉しさ、笑顔、感動を少しでも多く伝えていきたいと思えますので、会員の皆様、引き続き御協力をお願いいたします。また、個人的に情報を掲載したい方がありましたら、広報委員に連絡してください。お願いします。(広報委員会副委員長 下谷地雪雄 二二雄紀)

編集後記



軽米高校のホームページ、ご覧になったことはありますか。行事予定表や学校生活の様子、部活動の試合結果、コロナ対応等、軽米高校の情報を知らることができます。ぜひアクセスしてみてください。

軽米高等学校 ホームページ紹介

TA会員の皆様の御協力をよろしく願いました。(母親委員会 委員長 團田満美子 三一三咲弥)

発行

岩手県立軽米高等学校PTA事務局
電話 019514612320
FAX 019514613928
印刷 株式会社久慈印刷